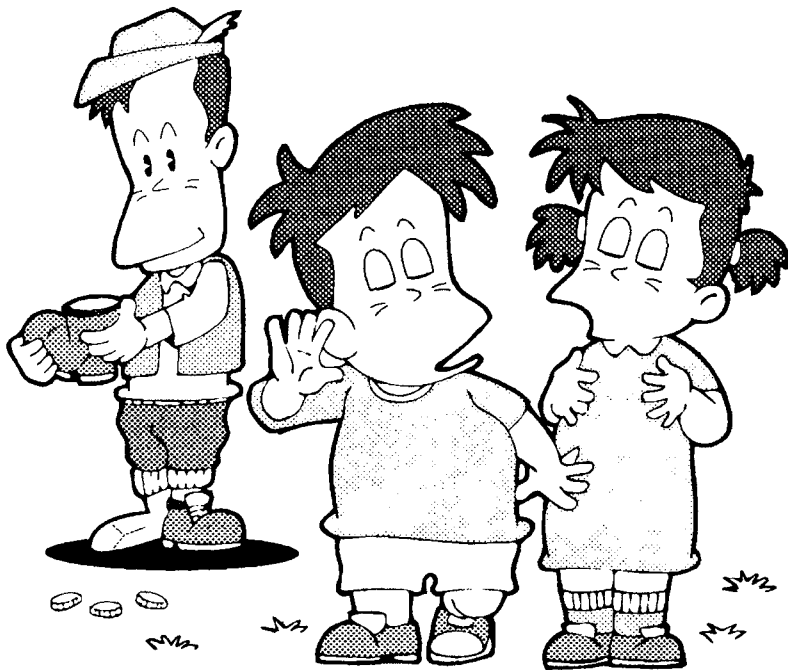


あそびのししぴ



耳を澄ましてみれば…

オトしています

秋の行楽シーズンがやってききました。家族や友人とあちこちに出掛ける機会も多いことと思います。その時に、日々と違った「音」に耳を傾け

てみませんか。現代人は騒音の中で生活し、多すぎる音のなかで、音に対して無頓着になリます。みんな奏でる音色が決まっています。虫の鳴き声や風の音で季節の変わり目を楽しんできた先人たちの遊び心や季節の感覚を、もう一度呼び起こしてみませんか。ツクツクボウシ、コオロギ、スズムシ、キリギリス。みんな奏でる音色が決まっています。

- 【人数】 何人でも
- 【場所】 どこでも
- 【道具】 硬貨など

- 【遊び方】 ①参加者は目を閉じる。指導者が「どんな音が聞こえますか」と言い、硬貨一枚を落とす。
- ②「今のは？」と尋ねると、「お金」という答えが返ってくる。「では金額は？」と聞くと、「？」。それぞれに違った答えが返ってくる。
- ③続けて、違う硬貨を落としていく。慣れると、落とした硬貨の金額が分かってくる。その後、1円、5円、10円、100円、500円の音の違いを感覚で記憶する。
- ④今度は、靴やかばんなど、指導者が身に着けているものや身近にあるものを落とす。参加者は目を閉じ、それが何であるかを音で想像する。
- ⑤最後に、「自然の音」と「人工の音」の違いや、「都会の音」と「季節の音」、「必要がない音」などをみんなで目を閉じて聞き比べてみよう。忘れかけていた美しい音や大切な音に気が付くかもしれないよ。10円と100円の音の違いを聞き分けられるあなたには「ゆとりの音」が聞こえてくるはずですよ。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092(882)0363